

【事業名】(新)だからことば大募集

【市町名】松山市

【事業主体】松山市ことばのちから実行委員会

【事業概要】

松山市では、市民提案によるミレニアムイベントとして、“ことば”をキーワードに、「松山から新しい文化の風を興し全国に発信していく」をコンセプトに事業展開をしている。「坂の上の雲」で全国から松山が注目されるこの時期を逃すことなく、新たに“ことば”を募集し活用を図ることで、改めて松山を情報発信するもの。

“ことば”募集

記念モニュメント設置(10年前の募集より誕生した歌詞の原稿型モニュメント)

審査発表・表彰式の開催

街は“ことば”のミュージアムの展開(募集作品を目に見える形で市内一円で展開)

【実施状況】

<p>モニュメント設置</p> 	<p>審査の様子</p> 
<p>審査発表・表彰式</p> 	<p>路面電車に展示された応募作品</p> 

【事業成果】

今回の応募総数は12,200点であり、日本全国に留まらず、海外からも応募があった。また事業の様子は全国各地の地方新聞等で報道され、本市の取り組みを強く発信することができたと言える。応募作品については、25の入選作品を中心としながら様々な場所に展開しており、様々な団体等からことばの使用申請が出ていることから、作品について市民レベルでの活用が促進されていると言える。

【事業名】 地域公共交通システム構築事業

【市町名】 伊予市

【事業主体】 伊予市

【事業概要】

地理的環境や公共交通機関等についての現状把握、地域公共交通アンケート調査結果の集計分析により、伊予市の公共交通における課題の抽出及び分類を行うとともに、運行方法、運行エリアといった新公共交通実施方法及びシステム構築スケジュール、運行管理主体といった新公共交通実施体制の検討を行い、伊予市の新しい地域公共交通システムを構築する。

【実施状況】

中山町佐礼谷地区でのワークショップ



双海町上灘地区でのワークショップ



伊予市の新しい地域公共交通体系



伊予市地域公共交通システム構築事業報告書



【事業成果】

中山地域及び双海地域において地域住民との意見交換会を実施するとともに、地域住民の代表者及び交通事業者等で構成する伊予市地域公共交通システム計画策定検討委員会において検討を行うことにより、地域の実情に合った地域公共交通体系の見直しを行うことができた。

また、地域公共交通会議において、交通事業者及び関係行政機関との合意形成を図れたことで、平成23年10月には、新しい地域公共交通の導入や路線バスの系統の集約が実施できることになり、地域住民の生活交通手段の確保、地域内・地域間移動による地域の活性化及び各地域の一体感の醸成に大きく寄与するものと期待されている。

新しい地域公共交通システムを実行する上では、中山地域及び双海地域において数多くの説明会を実施し、住民からの理解を得ながら進めていくこととし、地域に愛され、親しまれる持続可能なシステムとして定着を図っていくよう考えている。

【事業名】 グリーン&クール化推進事業

【市町名】 東温市

【事業主体】 東温市

【事業概要】

東温市では、地域省エネルギービジョン等の計画で、平成17年度を基準として、平成27年度までに「化石燃料消費量20%削減」という目標を掲げている。その目標を達成するため、市民との協働によるまちぐるみの温暖化対策に取り組んでいる。

本事業では、市や保育所をはじめとした関連施設、一般家庭などに働きかけ、温暖化対策に関する取り組みの一環として、次の事業を実施した。

緑のカーテン設置事業の実施

市民や自治会を対象としたアサガオ、ゴーヤ、ヘチマの種の無料配布

川内保育園園庭芝生化事業の実施

【実施状況】

保育所での芝生植付作業



植付完了後の様子



緑のカーテンの様子



ゴーヤの収穫



【事業成果】

緑のカーテン設置事業がTVや新聞等、様々なメディアに取り上げられたこともあり、蔓性植物の種を、当初目標300世帯を上回る500世帯に配布することができ、予想以上の効果を上げることができた。

また、川内保育園園庭芝生化事業は、保護者・園児・保育士による「手創りの事業」としてモデル的に実施することができた。

【事業名】 イメージキャラクター等作成事業

【市町名】 久万高原町

【事業主体】 久万高原町

【事業概要】

久万高原町では、効果的な情報発信や印象に残るPRが不足していたことから、各種イベントなどで統一したイメージのもと効果的な情報発信やインパクトのある観光PR、さらに町民に愛されるキャラクターによる町民一体となった町のPRを行うため、本事業を実施した。

イメージキャラクター作品の募集・選定

イメージキャラクター名称募集・決定

イメージキャラクターの着ぐるみ作成等

【実施状況】

<p style="text-align: center;">人 気 投 票</p> 	<p style="text-align: center;">キ ャ ラ ク タ ー 選 定 会</p> 
<p style="text-align: center;">ラ ッ ピ ン グ カ ー</p> 	<p style="text-align: center;">キ ャ ラ ク タ ー お 披 露 目 会</p> 

【事業成果】

イメージキャラクターの作品、名称を公募し、町民を巻き込んだイメージキャラクター作成事業となったため、作成当初から日本酒のラベルや自治会のトレーナー、お米の袋などに印刷して使用される一方、町内の交通茶屋や運動会、イベントなどでの着ぐるみ使用も多く、イメージキャラクター「ゆりぼう」は、町民に愛されるキャラクターとなった。

また、町産品推奨シールを作成したり、パンフレットやキャラクターを使った土産品開発など、町のPRや産業の活性化に繋がっている。

【事業名】 久万高原 木と住まいの相談窓口プロジェクト

【市町名】 久万高原町

【事業主体】 久万高原町

【事業概要】

林業のまちとして、産地からダイレクトに消費者に向けて久万材の良さや地産地消の必要性をアピールし、木造住宅の建設を促進するため、「久万高原 木と住まいの相談窓口」を設置し、次の事業を実施した。

相談窓口の運営

森林と住まいを結ぶ木だわり塾（住宅セミナー）の開催

久万杉フレームの家プロトタイプの商品化

久万杉フレームの家供給体制の構築

【実施状況】

相談窓口（ティンバーハウス）



木だわり塾（久万高原ツアー）



新商品ラティスパネル実験



ささゆりの家建前



【事業成果】

木と住まいの相談窓口で、地域マネージャーが中心となり、各業種を取りまとめ、一体的に久万材を売り出す機運を盛り上げることができた。住宅セミナーでは、延べ242人の参加者があり、木造住宅についての理解を深めることができた。今後は、平成23年度建築の久万高原の家モデル住宅を拠点とし、木にこだわりのまちづくりをさらに推進していく。

【事業名】 人と自然が共生できる地域づくり事業

【市町名】 松前町

【事業主体】 松前町

【事業概要】

松前町の豊かな水資源について、従来の自然生態系を再現し、誰もが気軽に自然に触れることができる場を提供することにより、地域の自然環境に対する愛着と保全意識を高めるために、次の事業を実施した。

ビオトープの整備

自然観察会の開催

水生生物調査の実施

【実施状況】

水生生物調査風景



自然観察会風景



ビオトープ生物調査



ビオトープ風景



【事業成果】

町内の地域づくり団体が主体となり、ビオトープの養生、神寄川の水生生物調査、小学生を対象とした自然観察会を開催。水辺の素晴らしさ、貴重さを認識するとともに、松前町に現存する水生動植物等の貴重な記録ができた。今後も幅広い層が参加できる学習会等を開催し、施設については環境学習の場としての活用を予定している。

【事業名】 防災知識普及啓発事業

【市町名】 砥部町

【事業主体】 砥部町

【事業概要】

災害危険箇所の周知を行うため、総合防災マップを作成し、防災講座などを開催して周知を図る。また、作成した総合防災マップを町内の全世帯に配布する。

防災講座の開催 各地区代表者に災害危険箇所を周知

防災講習会の開催 各地区において、防災マップを利用した防災講習会を開催

総合防災マップ作成 砥部地区版、広田地区版を配布

【実施状況】

総合防災マップ完成



防災講座（区長会）



七折区防災講習会



千足区防災講習会



【事業成果】

住民に災害危険箇所の周知を図ることができた。

また、各地区において自主的に防災訓練や避難誘導訓練などの検討が始まるなど、地域の防災意識を高めることができた。

今後も、防災マップを活用した防災講習会や防災訓練などを継続して実施する予定である。

防災講座 参加人数 58人

防災講習会 開催地区数 12地区、参加人数 401人

防災マップ配布数 砥部地区 7,452部、広田地区 600部